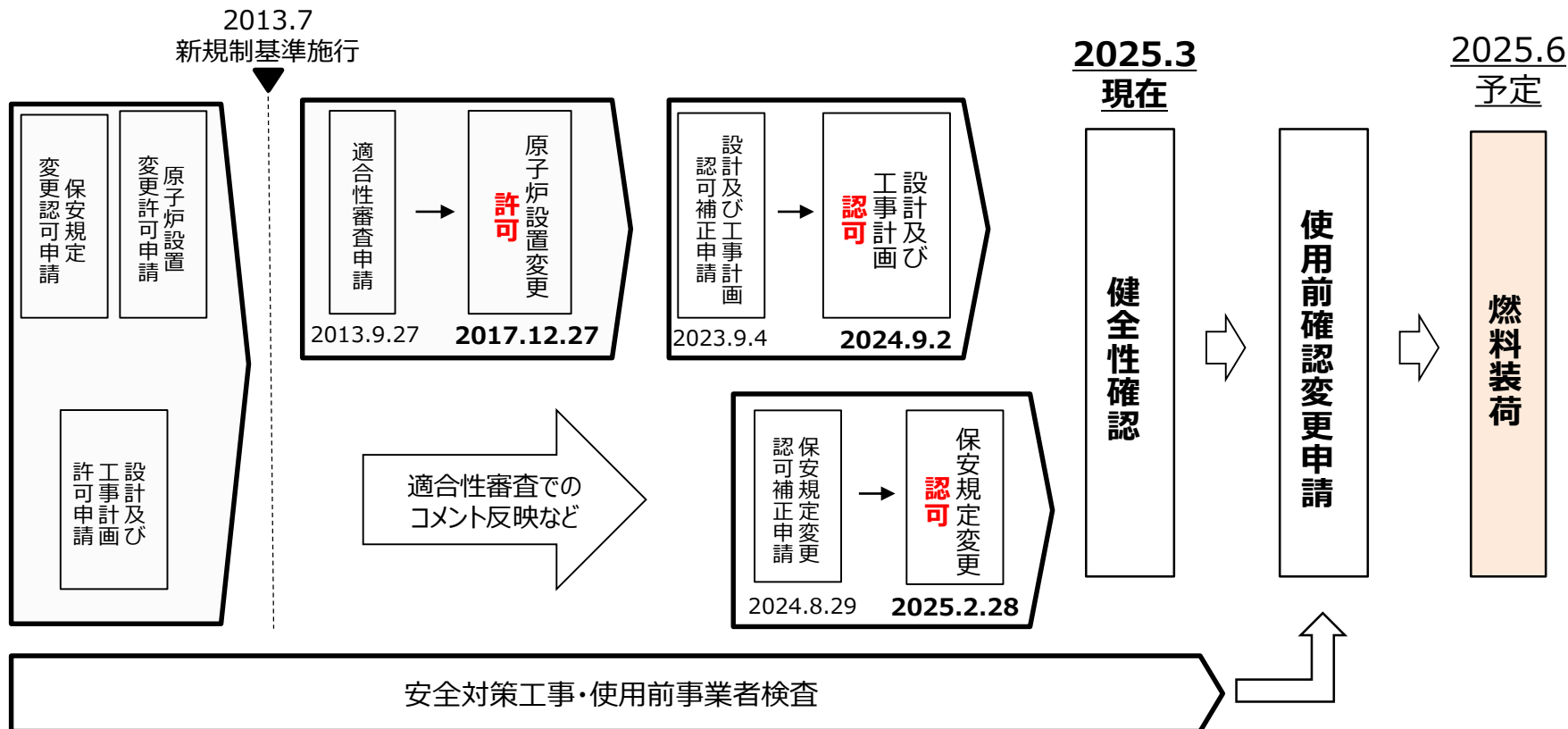


# 6号機の進捗状況について

- 2013年7月に新規規制基準が施行され、2013年9月に適合性審査を申請
- 2017年12月に原子炉設置変更許可、2024年9月に設計及び工事計画認可、2025年2月に保安規定変更認可
- 安全対策工事は、約8割実施済（使用前事業者検査は、約5割実施済）
- 2025年3月10日までにタービン系の主要設備の健全性確認を実施。今後、原子炉系の主要設備の健全性確認を実施
- 安全最優先で、何かあれば一つひとつ確認のもと、安全対策工事と、それに伴う使用前事業者検査や健全性確認を進めてまいる



# 6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について

ガスタービン発電機



万一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力を確保

静的触媒式水素再結合装置 (PAR)



触媒の働きで、原子炉建屋に滞留した水素と酸素を水蒸気に変え、水素濃度の上昇を抑制

取水槽閉止板



海水ポンプ点検用の開口部から、津波が建屋内に浸水することを防止

原子炉建屋内緊急時対策所



重大事故等が6、7号機で発生した場合、所員が参集し、事故収束に向けた指揮命令等を実施

水密扉等の浸水防護対策



重要設備が設置されている部屋に、設備の破損で漏えいした水等の流入を防止

中央制御室待避室



炉心損傷が発生後、格納容器の圧力逃し操作を実施した際の、運転員の被ばくを低減させるための待避場所として使用

火山灰フィルタ



火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電機が火山灰で目詰まりしないよう、給気口にフィルタを設置

コリウムシールド



耐熱性の高い堰を設置し、溶融燃料によって、鋼製の原子炉格納容器境界板が損傷することを防止

フィルタバント設備 (地上式)



万一バントを行う際でも、大量の放射性物質の放出を防止

使用済燃料プールに注水するための外部接続口



重大事故発生時に外部から使用済燃料プールに注水ができるよう、消防車を接続

大物搬入建屋

建物を解体撤去し、耐震性の高い建物に建て替え

燃料取替機



耐震強化工事を実施

ブローアウトパネル閉止装置



主蒸気管破断などによりブローアウトパネルが開放した際、原子炉建屋内の圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止

高圧代替注水系 (HPAC)



原子炉隔離時冷却系 (RCIC) のバックアップとして、原子炉へ注水

電巻防護ネット (複数箇所)



建屋の開口部に設置し、竜巻により飛来した物の侵入を防止

- : 工事实施中
- : 工事实施済

※工事实施済であっても、使用前事業者検査実施後に機能維持のための保全作業等が生じる場合あり  
 ※工事については、使用前事業者検査を行い、原子力規制庁より使用前確認をもって完了

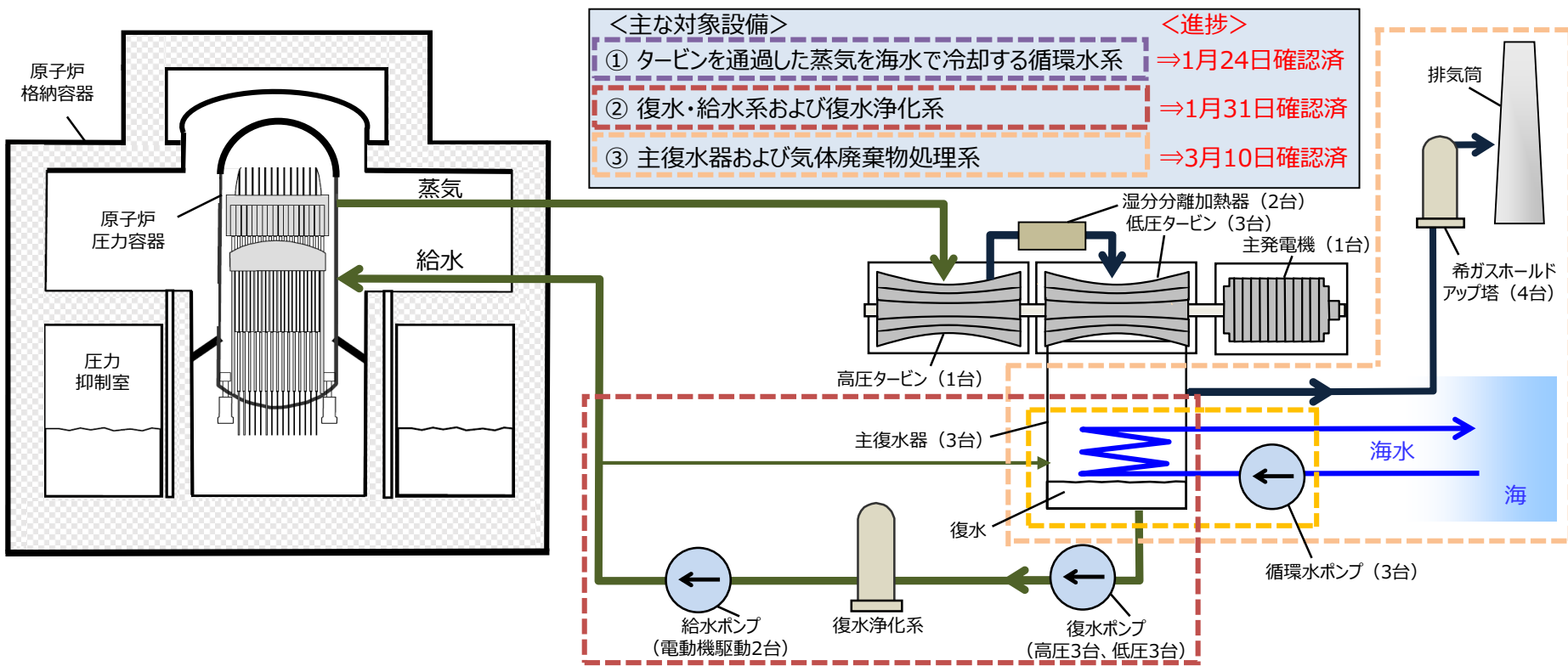
・貫通部対策 (火災防護・浸水防護)  
 ・火災防護対策

※ 写真は一部7号機設備のものを使用

# 6号機 タービン系主要設備の健全性確認について

➤ 主復水器および気体廃棄物処理系（③）については3月10日までに機能を確認済

## 全体概要図



# 6号機 原子炉系主要設備の健全性確認について

➤ 7号機同様6号機についても、今後、主要な原子炉系設備（下図①～③）の健全性確認を実施

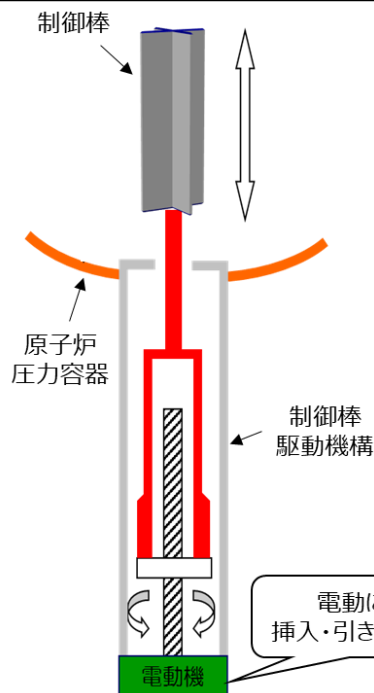
## 【設備概要】

- ①主蒸気逃がし安全弁：主蒸気隔離弁が閉まった際に、原子炉の蒸気を圧力抑制プールに逃がし原子炉圧力を低下させることで、低圧注水を行えるようにするための弁
- ②主蒸気隔離弁：万が一の事故時に、放射性物質を含む蒸気等が原子炉格納容器の外側に流れないようにするための弁
- ③制御棒駆動機構：原子炉の起動時、停止時、出力制御時に制御棒を動かす設備

### ③制御棒駆動機構

#### 【確認内容】

205本の制御棒について1本ずつ電動による挿入・引き抜き操作を行い、全ての制御棒駆動機構が正しく動作することを確認



### ①主蒸気逃がし安全弁

#### 【確認内容】

主蒸気逃がし安全弁の動作確認



### ②主蒸気隔離弁

#### 【確認内容】

主蒸気隔離弁の開閉動作の確認、圧縮空気を流すことで漏えいが無いかを確認

